

自由民主党

国会対策委員長 森山 裕 殿

新型コロナウイルス対策の閉会中審査
についての申し入れ

新型コロナウイルス感染蔓延の第3の波が強まるなか、第203回国会（臨時会）は5日に閉会される運びとなっている。本来ならば会期延長によりコロナ対策について審議を継続すべきである。

しかるに、感染爆発を阻止するために、政府は今年15日頃までを「勝負の3週間」と位置づけ、国民に往来の自粛など感染防止策の徹底を求めており、むしろ立法府としても看過できない。議員や府省庁・報道の関係者らが万単位で集中して国会及びその周辺を行き来する状況は回避すべきであり、閉会することにあえて同意する。

感染防止と社会経済活動を両立させつつ、国民の命と暮らしを守るために万全の対策を講じることは、政府ともども立法府の責務である。わけても全国各地で医療崩壊の危殆に瀕している。

ゆえに来年1月の通常国会召集までの閉会中において、人の往来をより抑制できる新型コロナウイルス対策に関する特別委員会を新設のうえ適宜開催し、不断に審議を行うよう前向きな検討を求める。それが叶わずとも、国民の負託に応えるべく、最低限、厚生労働委員会などコロナ対策を所掌する常任委員会を適宜開くことを要望する。

令和2年12月2日

日本維新の会

国会対策委員長 遠藤 敬



公明党

国会対策委員長 高木陽介 殿

新型コロナウイルス対策の閉会中審査
についての申し入れ

新型コロナウイルス感染蔓延の第3の波が強まるなか、第203回国会（臨時会）は5日に閉会される運びとなっている。本来ならば会期延長によりコロナ対策について審議を継続すべきである。

しかるに、感染爆発を阻止するために、政府は今年15日頃までを「勝負の3週間」と位置づけ、国民に往来の自粛など感染防止策の徹底を求めており、むろん立法府としても看過できない。議員や府省庁・報道の関係者らが万単位で集中して国会及びその周辺を行き来する状況は回避すべきであり、閉会することにあえて同意する。

感染防止と社会経済活動を両立させつつ、国民の命と暮らしを守るために万全の対策を講じることは、政府ともども立法府の責務である。わけても全国各地で医療崩壊の危殆に瀕している。

ゆえに来年1月の通常国会召集までの閉会中において、人の往来をより抑制できる新型コロナウイルス対策に関する特別委員会を新設のうえ適宜開催し、不断に審議を行うよう前向きな検討を求める。それが叶わずとも、国民の負託に応えるべく、最低限、厚生労働委員会などコロナ対策を所掌する常任委員会を適宜開くことを要望する。

令和2年12月2日

日本維新の会

国会対策委員長 遠藤 敬

